

特定保健指導の効果

1 特定保健指導後の検査値の改善効果

公立学校共済組合北海道支部の特定保健指導の平成26年度における実施率は1.3パーセント（組合員・被扶養者・任意継続組合員）で、保健指導による効果を比較・検証をすることができない状況ですが、厚生労働省の保険者による健診・保健指導等に関する検討会資料「特定健診・保健指導の医療費適正化効果等の検証のためのワーキンググループ経年分析報告（平成20年度～平成25年度）概要」（H28.4.13）の内容を紹介します。

この分析のための調査は、特定健診等制度がスタートした平成20年度に特定保健指導の対象となった40歳から74歳までの共済組合の組合員等20万人～22万人のデータを活用して特定健康診査の検査値の推移を比較し、検証したものです。

そのうち、平成20年度に保健指導の対象となり特定保健指導（積極的支援）を受けた参加者は、平成20年度から平成25年度までの保健指導の対象となり特定保健指導を受けなかった不参加者と比較すると、概ね全ての検査値において、特定保健指導後の5年間に、検査値の改善効果が継続していることが確認されました。

また、特定保健指導は糖尿病、高血圧の予防の観点からも有効である可能性が示唆されました。

2 特定保健指導（積極的支援）による検査値・医療費の推移

平成20年度と平成25年度の検査値の差について、下図のとおり血糖値のHbA1c値は男女とも増加しましたが大きな増加は抑えられ、血圧値（収縮期血圧）と中性脂肪値は男女とも減少しました。

さらに、メタボリックシンドロームの人が併発しやすい高血圧症と脂質異常症、糖尿病に関連する入院外医療費の推移でも参加者の方が医療費が低く抑えられることが明らかになりました。

【腹囲】 男性 - 1.47cm 女性 - 2.16cm	【体重】 男性 - 1.25kg 女性 - 1.63kg
【血糖（HbA1c）】 男性 + 0.11% 女性 + 0.08%	【血圧（収縮期血圧）】 男性 - 0.63mmHg 女性 - 2.80mmHg
【中性脂肪値】 男性 - 36.23mg/dL 女性 - 31.79mg/dL	特定保健指導（積極的支援）による 3疾患関連の1人当たりの入院外医療費 男性 -5,720円 女性 -1,680円

※ 特定保健指導（積極的支援）を受けた40～64歳の男女の「参加者」と「不参加者」それぞれの平成20年度と平成25年度の数値の差

公立学校共済組合ヘルスケアおススメキャラクター



コーハーくん



スズちゃん

※本書は、厚生労働省の保険者による健診・保健指導等に関する検討会資料「特定健診・保健指導の医療費適正化効果等の検証のためのワーキンググループ経年分析報告（平成20年度～平成25年度）」（H28.4.13）の内容の概要です。